

2024年度一般社団法人日本消化器がん検診学会事業報告書

(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1. 定款第5条1号(消化器がん検診に関する学術集会、学術講演会、研究会等の開催)

◎総会

第63回総会 テーマ:「革新的消化器がん検診を目指して」

会 長: 廣岡 芳樹 (藤田医科大学医学部消化器内科学講座)

会 期: 2024年6月7日(金)～6月9日(日)

会 場: ウィンクあいち (愛知県産業労働センター)

参加数: 2,639名(現地785名・オンデマンド1,854名)

演題総数: 主題41題、一般演題66題

内 容:

会長講演 (1) 「消化器がん検診は早期発見から未病状態の特定へ」

特別講演 (2) 「がんゲノム医療とがん検診の関わり」

「消化器がんと細菌叢の研究はネクストステージへ
～腸内細菌を「調べ」「改善する」ためには～

教育講演 (4) 「医療倫理と利益相反」(社会医学セミナー)

「研究デザインの基本」

「統計解析の基礎的な使いこなし」

「ポストコロナ時代のがん検診戦略」

特別企画シンポジウム (1) 「先進的手法を用いた消化器がん検診の可能性」

ワークショップ (3) 「上部消化管がん検診の現状と革新的未来」

「革新的な大腸がん検診の現状と未来」

「革新的な肝胆膵領域がん検診の現状と未来」

一般演題1～12(下部消化管、肝臓、胆膵、上部消化管、その他)

放射線フォーラム(1)、超音波フォーラム(1)

ランチオンセミナー(6)、スポンサードセミナー(2)

◎大会

第62回大会(JDDW参加)「組織型検診を意識した精度の高い消化器がん検診の構築」

会 長: 金岡 繁 (浜松医療センター消化器内科)

会 期: 2024年10月31日(木)(JDDW会期:10月31日(木)～11月3日(日))

会 場: 神戸コンベンションセンター

備 考: 参加学会

日本消化器病学会 会長: 坂本直哉

日本消化器内視鏡学会 会長: 矢作直久

日本肝臓学会 会長: 四柳 宏

日本消化器外科学会 会長: 堀口明彦

参 加: 24,311名(現地8,554名 Web参加15,757名)

演題総数: 主題12題 一般演題41題

内 容:

会長講演 (1) 「精度の高い消化器がん検診の構築～組織型検診を目指して～」

理事長講演 (1) 「日本消化器がん検診学会の新機軸」

特別講演 (1) 「膵癌ハイリスク群の絞り込みとサーベイランス～膵IPMN 国際診療ガイドライン改訂と膵嚢胞患者の経過観察における課題～」

招待講演 (1) 「Unveiling the blueprint for colorectal cancer mortality reduction: A 20-year journey through Taiwan's colorectal cancer screening program」

大会会長賞 (1) 「対策型胃内視鏡検診における未分化型胃癌の現状と課題」

JDDW 教育講演 (8) e-learning 形式

JDDW 医療セミナー (6) 「生成 AI で変わる診療・研究・教育」

JDDW2023 女性医師・研究者プログラム (8)

「女性医師・研究者に対する equity を実現するには？」

ワークショップ (主導) (2) 「精度向上を目指した胃がん検診の取り組み～組織型検診の実現を見据えて～」

「精度向上を目指した大腸がん検診の取り組み～組織型検診の実現を見据えて～」

一般演題 (デジタルポスターセッション) :

食道・咽頭・胃 (食道癌、対策型胃内視鏡検診、精度管理、胃底腺型胃癌、胃粘膜下腫瘍)、胃・十二指腸 (未分化型胃癌、対策型胃内視鏡の課題、二次読影の現状と課題、表在性非乳頭部十二指腸)、大腸 1 (便潜血検査、大腸癌スクリーニング、内視鏡検査、) ,大腸 2 (内視鏡検査)、大腸 3 (腺腫発見、内視鏡検査前処置、CT 検査、) 、大腸 4 (内視鏡専門医数と大腸がん死亡 COVID-19、集団検診と個別検診、大腸腺腫、がん検診 DX 事業)、肝臓・膵臓・その他 (肝硬変からの肝発癌の頻度、マニュアル、膵がん早期き発見、超音波検診、腺腫性病変検出)、

JDDW 統合プログラム (6)、International Session (9)、

Strategic International Session (4)、シンポジウム (14)、

パネルディスカッション (10)、

JDDW 2024 特別企画 パネルディスカッション (8)、特別企画 (2)

ワークショップ (18)、ハンズオンセミナー (8)、

メディカルスタッフプログラム (2)、ブラックファーストセミナー (36)、ランチョンセミナー (36)、サテライトシンポジウム (24)

◎地方会 (各 7 支部、年 1 回開催)

・第 53 回北海道地方会

会 長：大沼 啓之 (札幌医科大学医学部 腫瘍内科学講座)

会 期：2024 年 7 月 20 日 (土)

会 場：札幌医科大学 臨床教育棟 講堂

参加数：116 名 (医師 20 名、医師以外 95 名、招待 1 名)

内 容：特別講演(1)、教育講演(1)、医師研修会(1)、一般演題(7)

・第 62 回東北地方会 (テーマ：消化器がん検診の現状と新たな展開)

会 長：小池 智幸 (東北大学病院消化器内科)

会 期：2024 年 7 月 5 日 (金) ～6 日 (土)

会 場：長陵会館

参加数：216 名 (医師 75 名、医師以外 135 名、招待 6 名)

内 容：特別講演 (2)、教育講演 (4)、放射線研修委員会研修会 (1)、パネルディスカッション (1)、症例検討会 (1)、一般演題 (16)、モーニングセミナー (1)、ランチョンセミナー (1)、アフタヌーンセミナー (1)

・第 83 回関東甲信越地方会 (適切ながん検診を安全に提供する)

会 長：安田 宏 (聖マリアンナ医科大学 消化器内科 教授・内視鏡センター長)

会 期：2024年9月15日（日）
会 場：川崎市コンベンションホール
参加数：424名（医師75名、医師以外327名、招待22名）
内 容：特別企画（1）、教育講演（1）、シンポジウム（2）、パネルディスカッション（2）、
症例セッション（1）、X線フォーラム（1）、保健衛生研修会（1）、一般演題（10）、
クイズセッション（1）、ランチョンセミナー（2）、スポンサードセミナー（2）

・第53回東海北陸地方会（テーマ：消化器がん検診の将来展望）

会 長：安田 一朗（富山大学第三内科）
会 期：2024年11月9日（土）
会 場：ボルファートとやま
参加数：194名（医師35名、医師以外141名、招待18名）
内 容：特別講演（1）、教育講演（1）、医師研修会（1）、超音波研修委員会（1）、
一般演題（13）、ランチョンセミナー（2）

・第53回近畿地方会（テーマ：消化器がん検診における新技術活用の可能性）

会 長：田中 弘教（宝塚市立病院 消化器内科 診療部長兼主任部長 内視鏡センター長・
超音波センター長）
会 期：2024年8月3日（土）
会 場：神戸国際会議場
参加数：239名（医師47名、医師以外190名、招待2名）
内 容：教育講演（4）、パネルディスカッション（1）、ランチョンセミナー（1）、
アフタヌーンセミナー（1）、コーヒーブレイクセミナー（1）、

・第55回中国四国地方会（テーマ：未来へゴーゴー！消化器がん検診！）

会 長：日山 亨（広島大学保健管理センター）
会 期：2024年11月9日（土）～10日（日）
会 場：広仁会館
参加数：168名（医師44名、医師以外118名、招待6名）
内 容：特別講演（2）、教育講演（3）、シンポジウム（1）、症例検討会（1）、優秀演題（4）、
一般演題（2）、ランチョンセミナー（3）

・第53回九州地方会

会 長：金城 徹（琉球大学病院 光学医療診療部 講師）
会 期：2024年9月28日（土）
会 場：沖縄県医師会館（3階ホール）
参加数：126名（医師18名、医師以外77名、招待31名）
内 容：会長講演（1）、教育講演（2）、一般演題（3）、パネルディスカッション（1）、
放射線技師研修会（1）、胃X線症例検討会（1）、ランチョンセミナー（1）

◎第5回医師研修会（総会時併催）

日 時：2024年6月9日（日）正午～30日（日）23:59（オンデマンド配信期間）

※オンデマンド配信にて開催

参 加：Aセッション475名 Bセッション472名

内 容：Aセッション 消化器がん検診の基本と展望

1. 消化器がん検診総論
2. 胃がん検診の基本と展望
3. 大腸がん検診の基本と展望

4. 腹部超音波検診の基本と展望

Bセッション 消化器がんに関連する最近のトピックス

1. 上部消化管内視鏡スクリーニングの最先端
一変わりつつある上部消化管内視鏡所見一
2. 食道癌・頭頸部癌の発生リスクと内視鏡診断
3. 大腸 CT 検査の今後の展開
4. 「腹部超音波検診マニュアル」の具体的な活用術
5. 日本における医療情報の利活用の現状と課題

◎支部主催医師研修会

- | | |
|---------|--|
| 北海道支部 | 日時：2024年7月20日（土）（地方会に併催）
会場：札幌医科大学 臨床教育棟 講堂
参加：20名 |
| 東北支部 | 日時：2024年7月6日（土）（地方会に併催）
会場：良陵会館
参加：34名 |
| 関東甲信越支部 | 日時：2024年9月15日（日）（地方会に併催）
会場：川崎市コンベンションホール
参加：10名 |
| 東海北陸支部 | 日時：2024年11月9日（土）（地方会に併催）
会場：ゴルフアートとやま
参加：24名 |
| 近畿支部 | 日時：2024年8月3日（土）（地方会に併催）
会場：神戸国際会議場
参加：12名 |
| 中国四国支部 | 日時：2024年11月9日（土）～10日（日）（地方会に併催）
会場：広仁会館
参加：25名 |
| 九州支部 | 日時：2024年9月28日（土）（地方会に併催）
会場：沖縄県医師会館（3階ホール）
参加：8名 |

◎第9回胃がん検診専門技師研修会（総会時併催）

日時：2024年6月9日（日）正午～6月30日（日）23:59

（オンデマンド配信によるWeb開催）

参加数：1,043名

内容：講義Ⅰ「胃がん検診専門技師認定制度、認定試験について」
講義Ⅱ「胃がん検診の精度管理について」
講義Ⅲ「撮影法について」
講義Ⅳ「食道のX線撮影法、診断の実際」
講義Ⅴ「読影補助認定制度について」
講義Ⅵ「背景粘膜診断について」
講義Ⅶ「胃がんのX線像と病理の対比」

◎胃X線読影判定講習 e-learning

受講期間：2024年3月1日（水）正午～5月31日（水）23:59

受講者数：249名

◎第4回大腸CT検査教育研修会・検査実践トレーニングコース（総会時併催）

日時：2024年6月9日（日）正午～6月30日（日）23:59 オンデマンド配信にて開催

参加数：62名（研修会＋トレーニング）、研修会のみ41名、トレーニングのみ4名

内容：教育研修会

総論（エビデンス・精度・ガイドライン等）

各論（前処置、撮影法、読影の概略）

実践トレーニングコース（ワークステーションを使ったデモンストレーション）

概論（読影の流れ）

症例提示（腫瘍性病変、病変との鑑別、偽陽性・偽陰性、ピットホール）

◎各支部主催の検診従事者研修会（放射線・超音波・保健師）

7支部にてそれぞれ各種研修会を開催した。（巻末資料参照）

2. 定款第5条2号（機関誌及び学術研究図書等の刊行）

1) 日本消化器がん検診学会雑誌を電子ジャーナル版にて刊行（J-STAGE&KaLib）

（英文名：Journal of Gastrointestinal Cancer Screening）

発刊月：隔月奇数月

号数：Vol.62(3)号～Vol.63(2)号 + Supplement 2冊（総会・大会抄録集）

3. 定款第5条3号（消化器がん検診に関する実態調査及び研究の奨励、業績の表彰）

1) 全国の消化器がん検診に関する実態調査をオンラインで実施

2) 業績等の表彰

・ 有賀記念学会賞

中島滋美（独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院）

・ 学術奨励賞

小田 宏（公益財団法人早期胃癌検診協会）

対象論文：胃X線画像とDeep learningを用いた*Helicobacter pylori*感染診断

森 英輝（敬愛会中頭病院）

対象論文：膵癌高危険群の拾い上げを目的とした膵臓専門外来の有用性
—腹部超音波検診の膵臓要精検者での検討—

4. 定款第5条4号（国際的な研究の奨励及び助成）

1) 国際研究費助成金：該当者なし

2) 国際学会参加支援：該当者なし

5. 定款第5条5号（消化器がん検診認定医（専門医）及び指導医・指導施設の認定並びに専門技師の認定）

1) 総合認定医

・ 第5回（2024年度）総合認定医試験を行った。

合格者数：123名

・ 総合認定医の更新審査を行った。

合格者数：150名

2) 区分毎認定医

・ 区分毎認定医の更新審査を行った。

合格者数：60名

3) 指導医・認定指導施設

・ 新規審査を行った。

合格者数：指導医69名、認定指導施設：7施設

- ・更新審査を行った。
合格者数：指導医 42 名、認定指導施設：15 施設
- 4) 胃がん検診専門技師認定制度
 - ・新規認定審査を行なった。
合格者数：222 名
 - ・更新審査を行なった。
合格者数：507 名
 - ・第 1 回（2024 年）胃がん技師認定試験を行った。
合格者数 159 名
- 5) 胃がん検診専門技師による読影補助認定制度
 - ・新規認定審査を行った。
2024 年度：読影補助認定技師 135 名
- 6) 大腸 CT 検査技師認定制度
 - ・新規認定審査を行った。
2024 年度：大腸 CT 検査技師認定 19 名 大腸 CT 検査技術認定施設 更新 6、新規 1 施設

6. 定款第 5 条 6 号（消化器がん検診に関する社会への啓発活動）

消化器がん検診に対する国民の関心を高める目的で一般市民向けの公開講座を開催する。

市民公開講座（主催：第 63 回日本消化器がん検診学会総会）

「お腹のがんについて詳しく知ろう」

日 時：2024 年 6 月 9 日（日）正午～6 月 30 日（日）23:59 オンデマンド配信にて開催

参加数：43 名（現地会場）YouTube 配信 6/12～12/16（視聴数 167 名）

内 容：司会：廣岡 芳樹（藤田医科大学医学部消化器内科学講座）

「胃がん検診 胃がん検診と早期発見の重要性」

講演者：堀口 徳之（藤田医科大学医学部消化器内科学講座）

「大腸がん検診と早期発見の重要性」

講演者：平山 裕（藤田医科大学医学部消化器内科学講座）

「膵臓癌・胆道癌」

講演者：田中 浩敬（藤田医科大学医学部消化器内科学講座）

「肝疾患のがん検診～昔と今～」

講演者：中岡 和徳（藤田医科大学医学部消化器内科学講座）

2024年度日本消化器がん検診学会 7支部の各種事業報告
 事業年度：2024年4月1日～2025年3月31日迄

事業種別	項目/支部	北海道	東北	関東甲信越	東海北陸	近畿	中国四国	九州
超音波研修会	研修会名	第21回超音波研修会	第22回超音波研修委員会研修会(地方会に併催)	第24回超音波セミナー	第20回超音波研修会(地方会に併催)	第45回超音波研修会(地方会に併催)	超音波研修会(地方会に併催)	
	日時	2024年4月6日	2024年7月6日	2024年7月13日	2024年11月9日	2024年9月3日	2024年11月9日	
	会場	AQU-A/ステ4512F 中研修室1208-WEB	長崎会館	東原健康会館 大ホール	ボルファートとやま	神戸国際会議場	広仁会館	
	参加費	1500円	無	会員3,000円 非会員4,000円	無	無	無	
	参加者数	220名	18名	35名	34名	38名	30名	
	主なプログラム	テーマ「ステップアップエコー」 症例検討(サイズで判定マニュアルを理解する)、「ライブモンスレクション」研修の効果をステップアップ!!、特別講演「血液診断の有効活用」	教育講演「放射線・超音波・保健衛生研修委員会共通研修会」 「AIコグニティブ」感染症と胃がん検診に関する最新の話題 教育講演「ライブデモ」 「検診における超音波エコーの実践」	教育講演1: 胆道 教育講演2: 膵臓 教育講演3: 肝臓	特別講演「肝脂肪化と肝細胞癌の関連および超音波減数係数測定の高感応用-MASLD/MASH時代に向けて」 教育講演「膵臓癌の超音波診断」	教育講演「肝臓の腹部描出テクニック～判定マニュアル2021を交えて～」 超音波症例検討会	教育講演「癌がんの早期診断に向けた取り組み」	
研修会名		第14回福島セミナー	第27回初心者のための腹部超音波実技講習会		第48回超音波研修会			
日時		2023年1月18日	2025年2月9日(土) 予定		2024年11月30日			
会場		ラコハ福島	キャンタマデ・カナルシステムズ(株) 菅野支社会議室		住友病院 講堂 ハイブリッド開催			
参加費		2,000円	会員: 25,000円 非会員: 28,000円		現地: 会員 2,000円、非会員 8,000円 Web: 会員 500円、非会員 1,000円			
参加者数		54名	13名		70名			
主なプログラム		「検査が必要となる所見」 1. 膵臓「腹部超音波検診判定マニュアル」がゴールを定めて理解するために 2. 膵臓「肝臓」 3. ハンズオン	初級者を対象とした腹部超音波スクリーニングの実技指導 ・実技講習(実際にプローブを握ってもらって超音波検査技術の習得)・基礎講義		「超音波ライブ」各臓器の描出テクニック～実技プログラム～ ① 肝臓② 膵臓③ 胆道④ 腎臓⑤ 脾臓⑥ 大腸⑦ 小腸⑧ 胃⑨ 十二指腸⑩ 十二指腸⑪ 十二指腸⑫ 十二指腸⑬ 十二指腸⑭ 十二指腸⑮ 十二指腸⑯ 十二指腸⑰ 十二指腸⑱ 十二指腸⑲ 十二指腸⑳ 十二指腸㉑ 十二指腸㉒ 十二指腸㉓ 十二指腸㉔ 十二指腸㉕ 十二指腸㉖ 十二指腸㉗ 十二指腸㉘ 十二指腸㉙ 十二指腸㉚ 十二指腸㉛ 十二指腸㉜ 十二指腸㉝ 十二指腸㉞ 十二指腸㉟ 十二指腸㊱ 十二指腸㊲ 十二指腸㊳ 十二指腸㊴ 十二指腸㊵ 十二指腸㊶ 十二指腸㊷ 十二指腸㊸ 十二指腸㊹ 十二指腸㊺			
研修会名		第17回東北セミナー	超音波セミナー(地方会に併催)					
日時		2025年3月1日	2024年9月15日					
会場		フォレスト仙台	川崎市コンベンションホール					
参加費		2,000円	無					
参加者数		44名(内2名受講料免除)	150名					
主なプログラム		1. 膵臓「肝臓維化評価を含まれた肝臓超音波」 教育講演Ⅱ「膵臓早期診断における現状と今後の展望」	教育講演、パネルディスカッション、ベストイメージングコンテスト、クイズセッション					
保健師研修会	研修会名	2024年度地域保健研修会	第21回保健衛生研修委員会研修会(地方会に併催)	消化器がん検診促進委員会交換会(地方会に併催)		第34回保健衛生研修会(地方会に併催)		
	日時	中止	2024年7月5日	2024年9月15日		2024年8月3日		
	会場		長崎会館	川崎市コンベンションホール		神戸国際会議場		
	参加費		無	無		無		
	参加者数		25名	21名		21名		
	主なプログラム		教育講演「放射線・超音波・保健衛生研修委員会共通研修会」 「AIコグニティブ」感染症と胃がん検診に関する最新の話題 教育講演「膵臓癌検診の確立に向けて現状と今後の展望」	がん検診の現状と課題～膵臓癌検診率向上を目指して～ 一部: ミニレクチャー 二部: 懇話会	大腸がん検診検診率向上を目指して～保健師・看護師として考えること～ 中止	※教育講演「及び」 講演: 「歴史に学ぶがん検診-老人保健法の時代からがん対策基本法・健康増進法の時代へ」 講師: 関西労働保健協会千里LC健診センター 渡邊能行先生		
研修会名			大腸がん検診検診率向上を目指して～保健師・看護師として考えること～					
日時			中止					
会場								
参加費								
参加者数								
主なプログラム								
研修会名			がん検診の受診率を向上させるために新たな価値で結び～行動検診を用いた検診でアプローチ～					
日時			2025年3月5日					
会場			WEB開催					
参加費			無					
参加者数			27名					
主なプログラム			これまで、がん検診を受診していない方や検診機会を失った方が多い未受診者の方が受診行動を起こすためにはどのような方法があるのか、受診率向上・早期がんの発見を目指し、看護職・保健師・看護師・事務職を対象に講演いたします。講演後にディスカッションを行い、実現可能な方法を検討する機会を学ぶ。					
内視鏡研修会	研修会名		第1回内視鏡検診研修会	胃X検診室-上部内視鏡検診合同検診会および膵臓講習会(地方会に併催)				
	日時		中止	2024年9月15日				
	会場			川崎市コンベンションホール				
	参加費			無				
	参加者数			250名				
	主なプログラム			「大腸内視鏡検診」 「胃X検診」 「膵臓」 「内視鏡検診」 「膵臓」 「内視鏡検診委員会および放射線検診委員会合同プログラム」				
研修会名			パネルディスカッション 大腸がん検診の検診率向上を目指した取り組み(地方会に併催)					
日時			2024年9月15日					
会場			川崎市コンベンションホール					
参加費			無					
参加者数			150名					
主なプログラム			大腸がん検診における精密検査に対する検診率向上を目的として、大腸内視鏡検査を中心とした精密検査への受診率向上のための取り組みや注目点、システム等について意見交換する。 また、副次的な選択肢であるCTOについても、必要に応じて討議する。					
研修会名			東京都府中市医師会 胃がん検診講習会(胃がん検診講習会へ共催として開催する)					
日時			2025年2月18日					
会場			府中市(東京都立がん検診センター)					
参加費			無					
参加者数			27名					
主なプログラム			府中市医師会が主催する内視鏡検診勉強会に、内視鏡研修委員会として共催する。					
研修会名			立川市医師会 胃がん検診講習会(胃がん検診講習会へ共催として開催する)					
日時			2024/7/22					
会場			立川市医師会					
参加費			無					
参加者数			21名					
主なプログラム			東京都立川市医師会が主催する内視鏡検診勉強会に、内視鏡研修委員会として共催する。					
研修会名			杉並区医師会 胃がん検診講習会(胃がん検診講習会へ共催として開催する)					
日時			2024/4/28日-5月8日					
会場			東京都杉並区医師会(Web)					
参加費			無					
参加者数			4月: 37名 5月: 17名					
主なプログラム			東京都杉並区医師会が主催する内視鏡検診勉強会に、内視鏡研修委員会として共催する。					

2024年度 正味財産増減計算書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月 31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	38,400,000	38,841,000	△ 441,000
賛助会員受取会費	2,660,000	2,620,000	40,000
一般会員受取会費	28,563,000	28,365,000	198,000
受取会費計	69,623,000	69,826,000	△ 203,000
事業収益			
機関誌収益	795,000	165,000	630,000
出版物頒布収益	914,871	545,260	369,611
広告収益	396,000	396,000	0
倫理審査手数料収益		20,000	△ 20,000
認定手数料収益	6,395,000	8,330,000	△ 1,935,000
認定研修受講料収益	5,693,000	4,054,000	1,639,000
技師認定手数料収益	12,261,000	10,740,000	1,521,000
技師研修受講料収益	9,695,000	6,300,000	3,395,000
事業収益計	36,149,871	30,550,260	5,599,611
学術集会収益			
参加費収益	29,139,000	21,553,000	7,586,000
協賛金収益	9,130,000	7,920,000	1,210,000
展示収益	3,960,000	2,100,000	1,860,000
広告収益	946,000	1,130,000	△ 184,000
受取寄付金	2,100,000	1,427,000	673,000
雑収益	378,000	903,000	△ 525,000
学術集会収益計	45,653,000	35,033,000	10,620,000
雑収益			
雑収益	765,918	536,282	229,636
雑収益計	765,918	536,282	229,636
経常収益計	152,191,789	135,945,542	16,246,247
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	28,192,555	19,594,900	8,597,655
臨時雇賃金		287,390	△ 287,390
退職給付費用	788,750	798,600	△ 9,850
法定福利費	3,716,248	3,356,521	359,727
福利厚生費	231,017	171,539	59,478
旅費交通費	2,413,444	2,138,118	275,326
通信運搬費	1,024,584	1,393,866	△ 369,282
広報費	6,006,330	2,546,830	3,459,500
会議費	3,512,808	4,770,824	△ 1,258,016
奨励費	222,741	365,461	△ 142,720
消耗品費	31,340	2,390,298	△ 2,358,958
修繕費	1,424,126	1,681,766	△ 257,640
印刷製本費	9,351,733	8,965,256	386,477
光熱水料費	278,243	230,819	47,424
新聞図書費		12,320	△ 12,320
会場費	4,544,880	4,229,700	315,180
運営費	7,473,395	3,866,660	3,606,735
貸借料	5,006,211	4,838,688	167,523
諸謝金	3,990,360	2,961,934	1,028,426
記念品費	215,050	684,508	△ 469,458
租税公課	345	43	302
委託費	28,335,327	17,207,250	11,128,077
支払手数料	3,914,071	1,587,109	2,326,962
渉外費	440,000	509,798	△ 69,798
雑費	35,079		35,079
事業費計	111,148,637	84,590,198	26,558,439
管理費			
給料手当	6,974,836	11,987,733	△ 5,012,897
退職給付費用	92,850	348,900	△ 256,050
法定福利費	195,591	176,656	18,935
福利厚生費	12,155	9,026	3,129
旅費交通費	220,092	107,192	112,900
通信運搬費	1,260,538	1,603,546	△ 343,008
会議費	20,172	26,431	△ 6,259
減価償却費	661,221	1,080,697	△ 419,476
消耗品費	637,744	502,392	135,352
修繕費	74,954	88,514	△ 13,560
印刷製本費	804,644	1,150,007	△ 345,363
光熱水料費	14,640	12,143	2,497
貸借料	263,484	254,664	8,820
保険料	507,360	484,010	23,350
租税公課	2,435,642	2,100,683	334,959
顧問料	2,239,600	1,633,500	606,100
諸謝金	395,000	325,000	70,000
支払手数料	67,452	11,368	56,084
雑費	134,781	296,719	△ 161,938
管理費計	17,012,756	22,199,181	△ 5,186,425
繰入金支出	7,697,000	7,734,000	△ 37,000
繰入金支出計	7,697,000	7,734,000	△ 37,000
経常費用計	135,858,393	114,523,379	21,335,014
評価損益等調整前当期経常増減額	16,333,396	21,422,163	△ 5,088,767
当期経常増減額	16,333,396	21,422,163	△ 5,088,767
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
固定資産売却損			
固定資産除却損	4	2	2
固定資産売却損計	4	2	2
経常外費用計	4	2	2
当期経常外増減額	△ 4	△ 2	△ 2
当期一般正味財産増減額	16,333,392	21,422,161	△ 5,088,769
一般正味財産期首残高	224,834,545	203,412,384	21,422,161
一般正味財産期末残高	241,167,937	224,834,545	16,333,392
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高	241,167,937	224,834,545	16,333,392